

特定非営利活動法人
アルコール・薬物依存症リハビリセンター



利用案内
User Guide



特定非営利活動法人
アルコール・薬物依存症リハビリセンター
琉球GAIA

電話相談・カウンセリングはこちらまでお電話下さい
東日本相談センター ☎03-5800-5121
西日本相談センター ☎06-6433-5111

【施設所在地】〒902-0078
沖縄県那覇市識名1102-16
【TEL】098-831-2174
【FAX】098-831-7174
【営業時間】09:00～18:30
【定休日】日曜日
【E-mail】maill@ryukyu-gaia.jp
【URL】http://www.ryukyu-gaia.jp

「琉球GAIA」について

琉球GAIAは、依存症の問題を抱えている方々を回復に導くお手伝いをさせていただきます。
琉球GAIAは、「本当にやめたい」と真剣に思っている皆様を全力でサポートいたします。

**薬物・アルコール・ギャンブル依存症から回復したいと願う人たちに、
〈薬・酒・ギャンブルをやめて生きる〉ための様々な選択肢を提供したい。
病院や既存のリハビリ施設以外の選択肢として、『もうひとつの回復の場』を提供したい。**

琉球GAIA(以下GAIA)は平成13年6月より沖縄にて薬物・アルコール・ギャンブル依存症回復施設としてスタートしました。私たちが沖縄という地を選んだのには、大きな意味があります。

まず、薬漬け酒漬けの生活環境から離れるということです。薬や酒、ギャンブルをやめるために「今まで付き合っていた友人」「問題に巻き込まれていた家族」「慣れ親しんだ環境」から離れることで、新しい人生を始めやすいと考えています。

また、島である沖縄は、簡単にもとの環境(場所)に帰ることが困難なため、回復したいと決心し、集中してリハビリプログラムに取り組みます。さらに、沖縄の自然は薬や酒、ギャンブルでボロボロになってしまった心にピュアな風を吹き込んでくれます。どこまでも澄んだ青い海でのサーフィン、釣り、シュノーケリングなどのマリンスポーツや、やんばるの森や慶良間諸島での合宿、輝く太陽の下でのゴルフや野球などのスポーツプログラムは、しらふでも人生を楽しめる喜びを仲間とともに味わえる沖縄ならではのプログラムです。

「沖縄の大自然の中で、仲間と共に楽しみながら、ゆっくり着実に回復を目指すこと」を理念に、カウンセリング経験、専門知識が豊富なスタッフと、利用者対スタッフ比率が高い充実した体制(目安として利用者2名につき1名のスタッフが専属で対応致します)で、利用者の方一人ひとりの個性を尊重する、きめ細かな支援を心がけています。

また、GAIAでは集団生活を中心にしていますが、回復の状態に応じて、アルバイトや就職、専門学校・大学への進学、資格取得の勉強などに取り組むなど、個性、個別性を重視し、個々の能力開発にも力を入れております。



特定非営利活動法人
アルコール・薬物依存症
リハビリセンター
琉球GAIA

理事長

鈴木 文一

回復支援プロセス

GAIAでは、依存症からの回復をいくつかの段階に分けて捉え、その時々実践すると良いことの提案や、利用者が今どの段階に居て、どんなことを心がけるかについて、利用者一人ひとりに選任スタッフを設けて、逐一ディスカッションを行います。依存症からの回復には行動面や情緒面での変化に加えて、身体的な変化も経験しますし、その変化に適応するには通常一定の期間を要します。まして、継続的な薬物使用は、脳に異常をもたらしますので、その回復には多少時間がかかることもあります。

回復初期には、抑うつ気分、睡眠障害、頭痛、不安などを経験するでしょう。これらは身体的な回復過程において当然の症状であること、これらの症状を早く改善するには、栄養のある食事、適度な睡眠、ストレスを軽減するための余暇活動などが重要です。また、断薬後間もない時期は特に渴望感が強いので、衝動的な行動にも至りやすいという点なども勉強して頂くこととなります。

回復中期には、もう回復したという油断から、治療的な場所から離れてしまったり、就労を焦るケースが目立ちます。これらも結果的には再発の可能性を高める事になるので、注意が必要です。またこの時期の特徴のひとつには退屈さが挙げられます。薬物使用とそれに伴う行動は、とてもエキサイティングで刺激的です。強い刺激レベルに慣れてしまっているために、気付かないうちに刺激を求め、危険な行動を起こしがちです。この時期を乗り越えるには運動やレクリエーションを通じ、シラフで過ごす時間を充実させることが重要です。

回復後期に入る頃には、薬物の問題が遥か遠い昔の事のように感じられますが、油断は禁物です。依存症に対するメンテナンス治療を続ける時期です。規則正しくバランスのとれた生活を心がけることも重要です。運動すること、休息をとること、必要な時にカウンセリングを受けることなどを生活のスケジュールに組み込みながら、仲間と共に自助グループにも積極的に参加することが大切です。

このような、**家族と共に回復を目指すプログラム**は
当センター独自のプログラムで、現在まで多くの回復者を生み出しております。

プログラム

GAIAのプログラムは講義やディスカッションなど
様々な形式による依存症教育
日々のミーティング、そして沖縄の豊かな
自然の中で行うスポーツを中心としています。



I. 依存症教育

認知行動療法をベースとした再発防止教育プログラム

- ① 薬物やアルコールの害について理解を深める。
- ② 毎日を計画的に過ごし、薬物やアルコールの入りこむすきを作らない。
- ③ 「使いたい」という気持ちを上手にあつかう具体的な方法を身につける。
- ④ 回復の道のり全体を理解し、これからやってくる様々な問題にそなえる。
- ⑤ 再発の危険信号について学び、その合図に自分で気がつけるようにする。

以上の点について重点的に学び、依存症という【病気】について学んでいただきます。病気の本質と回復について学ぶことにより、性格上の問題にも目を向けることが出来ます。依存症は再発率が非常に高い病気であるため、事前にそのメカニズムを学ぶことにより再使用(再行為)を防止するためのスキルを身に付けていきます。

12ステッププログラム

1939年創刊の、アメリカのアルコール依存症の相互支援グループ、アルコホーリクス・アノニマス(AA)のテキスト【ビックブック】をもちいて回復の過程を、12の段階にわけて記した内容に沿って進めて行くプログラムです。現在【ビックブック】は世界中に翻訳され、世界160弱の国と地域で約220万人、日本では約2,500人~5,000人(現在もその数は増え続けている)の依存症の問題を抱えた方々の回復に貢献しています。まさに依存症回復における中核的プログラムといえます。

RDP(リカバリーダイナミクスプログラム)

RDPは主として依存症回復支援施設(中間施設、リハビリ、医療施設など)のために作られたプログラムで、このプログラムの基礎は、上記の12ステッププログラムからなり、歴史的にも十分な実績を持つ12ステップをリハビリ施設で効果的に使えるように翻案した革新的なプログラムです。このプログラムには大きく分けて3つの目標があります。

- ① 1番目の目標は、問題がなんであるかを知ること=ステップ1
- ② 2番目の目標は、問題の解決策は何であるかを知ること=ステップ2
- ③ 3番目の目標は、解決策を手に入れるための行動を起こし、結果を手に入れること=ステップ3~12

利用者の方々に対して、12ステッププログラムをより理解し易く伝え、実践を促していくプログラムです。

グループセラピー

グループセラピーの一種である、グループミーティングを用いて様々なテーマに沿って各自の経験や感情を分かち合います。薬物(アルコール・ギャンブル)と一体化していた依存症者の感情は、他人の感情はもちろん自分の感情にすら気づくことができなくなっています。グループの中で、「話す」「聞く」ことにより、自他の感情に気付くことができるようになり、自分を知ることができるようになります。また、グループの中での人との関わりは、共感を育て、コミュニケーションスキルを身に付けるのにも役立ちます。

II. スポーツプログラム (希望者がいれば開催するプログラム)

沖縄の恵まれた自然の中で楽しみながら体力の回復・増進を図り、サーフィンやシュノーケリング、ゴルフ、フィッシングなどのアウトドアスポーツやフィットネスジムなどを通じて仲間との交流を深め、一人の時も自由な時間を楽しめる新しいライフ・スタイルを獲得することを目的としています。そして自分が参加したいプログラムを利用者自らが日々選択して参加することで、決断力や自立心、目標達成力を高める効果もあります。GAIAではスタッフ対利用者の比率がとても近いので、柔軟に様々なプログラムを行える利点があり、こういった依存症回復施設では非常に稀な形態をとる事が可能となっています。またGAIAのスポーツプログラムは強制的に参加させられるプログラムではなく、入寮直後の離脱期や、体調が優れない時はしっかり休んで頂き、健康面や体力面にも配慮しております。

III. 大自然合宿 (毎月一回開催されるプログラム)

鳥類天然記念物に指定されているヤンバルクイナの生息地として有名な本島北部(ヤンバル)や国内最大の国立公園に指定されている慶良間諸島の民宿に泊まり、サーフィン、シュノーケリング、パークゴルフ、フィッシング、トレッキング、バーベキューなど、日常生活の場を変えて行うプログラムです。壮大な自然が多い魅力に惹き込まれるGAIA随一のプログラムです。こうして日々の生活に変化を持たせることで、ストレス解消や、自分の中で起きている感情の変化に気付いてもらうことを主眼としています。

IV. レクリエーションプログラム (毎月一回開催されるプログラム)

毎月一回、県内リゾートホテルでの昼食や、映画鑑賞などの娯楽を取り入れて、過度なストレスをため込まないよう、生活に変化を持たせております。やはり集団生活にはこうしてリフレッシュする機会も重要だとGAIAでは考えております。

回復のためにGAIAが大切にしていること

GAIAでは、「沖縄の大自然の中で、仲間と共に楽しみながら、ゆっくりと着実に回復を目指すこと」を理念に、利用者の方一人ひとりの個性を大切にしたいきめ細やかな支援を心がけています。

① 安全な環境

依存症は、脳の変化により薬物やアルコールに対する渴望感が非常に強くなってしまいう病気です。そのため、断薬(酒)してしばらくの間は、薬物やアルコールに関する刺激のない安全な場所で過ごすことが特に重要です。GAIAでは、施設内を常に安全で治療的な環境に保つため、薬物やアルコールの持ち込み禁止、暴言や暴力の禁止等を徹底しています。

② 依存症教育

依存症から回復するには、依存症という病気についてしっかり学び、また、再使用を防止するための様々なスキルを身につけることが大切です。GAIAでは、講義やディスカッションなど様々な形式を用いて、回復に役立つ知識を身につけることができるよう工夫しています。

③ 趣味や生きがいの発見

依存症の人の多くは薬物やアルコールが生活の全てになっていて、それ以外の人生の楽しみを忘れてしまっているため、薬物やアルコールが生活から取り除かれるとぽっかりと穴が空いたような気持ちになります。退屈や空虚感は再使用の大きな要因になりますので、断薬(酒)と並行して、自分が心から楽しいと思えるような趣味や余暇の過ごし方を見つけていくことが大切です。GAIAでは、サーフィン、シュノーケリング、ジム、野球、フットサル、バスケットボールなど多彩な選択肢を提供することで、自分らしい余暇の過ごし方を身に付けることができるようにサポートしています。

④ 物事の考え方や対人関係能力の改善

依存症という病気は、長い年月をかけてその人の性格や考え方、コミュニケーションの仕方までも変えてしまいます。これらの問題に取り組まないで社会に出ると、周囲とのトラブルが絶えなかったり、自分自身のストレスが非常に大きくなったりして、結局また薬物やアルコールを使ってしまうという事になるでしょう。GAIAでは、メンバーそれぞれが共同生活の中で起きてくる様々な対人関係の問題にしっかり向き合い、解決していけるよう支援します。

⑤ 自立

断薬(酒)は依存症からの回復のゴールではなく出発点にすぎません。その先には、薬物やアルコールに頼らないで、自分らしさを大切にしながら、周囲と調和し、自立して社会の中で生きていくという真実のゴールが待っています。GAIAでは、一人ひとりが自分らしい自立生活を実現できるまで、時間をかけて丁寧に指導していきます。

GAIAでは、個別性を重視しているため共通の利用期間を定めてはいませんが、3ヶ月をひとつの単位として、3ヶ月ごとに個別の課題設定と見直しを行い、その結果によってご本人やご家族と相談しながら今後の支援計画を検討していきます。

依存症は再発率の非常に高い病気であることを考えると、回復に必要な課題をその人なりのペースで着実にこなすことが安全な回復の鍵だといえるでしょう。また、強いストレスや急激な環境の変化は再発の大きな要因となりますので、次の段階への移行はゆるやかに慎重に行っています。

他人との比較や焦りは禁物です。GAIAでは、安全で長期的な回復のために、入所から通所への切り替えを徐々に行い、また、その後の就労も一定期間は施設の近くで行うことを強く推奨しています。

GAIAの一日

8:15	起床
8:30	集合 通所の仲間は、この時間にGAIAに集合します。
9:00	掃除及び食事作り 当番制で掃除や食事作りをするのではなく、自主的に自分がやりたい仕事をします。
10:30	各種ミーティング
12:00	当日の夕食及び翌日の朝食買い出し 買い出しに行った人の希望で大体の献立は決まります。
13:00	ミーティング以外のプログラム サーフィン、ジム、釣りなど自分が参加したいプログラムに参加します。 なるべく自主性を重んじるようにしていますが、人数の関係上必ずしもご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。
17:00	夕食作り 夕食作りも当番制ではありません。自主的に手の空いている仲間が協力しあって作ります。 今まで食事の支度をしたことのない仲間もGAIAでの食事作りに参加することによって、今後の自立生活に役立ててください。
18:00	終了 夕飯を食べ終わり後片付けが終わり次第終了です。 また明日の予定などもこの時に話合うことがあります。
18:00~	自由時間 寮外で開催されているグループミーティングに行く仲間は、この時間から準備をはじめます。 仲間同士で買い物に出かけたり、テレビを見たり、みんなでゲームをしたり、自由時間となります。 就寝時間は特に決めていませんが、明日のプログラムに支障がない時間に寝るようにしてください。

プログラム紹介

強制的に参加させられるプログラムではなく、自分が参加したいプログラムを選択して参加します。

プログラム内容

沖縄の恵まれた自然の中で楽しみながら体力の回復・増進を図り、サーフィンや釣りなどのアウトドア・スポーツを通して仲間との交流を深め、一人の時も自由な時間を楽しめる新しいライフスタイルを獲得することを目的としています。

- ジム ■ サーフィン
- ウォーキング ■ ゴルフ
- シュノーケリング
- 野球 ■ フットサル
- バスケットボール
- 釣り ■ 大自然合宿

自然の中で『新たなライフスタイル』を見つける



GAIAの実績

GAIAでは、入寮者の回復過程や退寮者のその後の様子を把握するための調査研究を行い、援助の質の向上に努めています。平成19年9月から平成24年8月の5年間で1ヶ月以上GAIAに入寮しており、かつ、平成26年3月末日現在において退寮1年が経過していた44名を対象とした調査では、以下のようになっています。

施設入寮者の生活状況

入寮者の平均入寮期間は9.1ヶ月でした。入寮3ヶ月時点のアンケート調査の結果をみると、入寮者の61.9%が「施設での生活を有意義に過ごせている」と回答していました。また、約9割が週に数回以上の割合で自助グループに参加できていました。更に、心理検査(POMS)による評価では、入寮時に比べて、3ヶ月後は気分感情の状態が改善する傾向があることがわかっています。

1年予後及び予後の関連要因

GAIAを退寮してから1年後の薬物使用状況をみると、1年後も薬物を使うことなく生活できている人の割合は55%、1年以内に再使用をした人の割合は36%でした。

残りの9%は、施設で1年後の様子が把握できていない人たちです。

GAIAの利用者は、はじめて施設に入寮する人が非常に多く、「薬物依存症からの回復には通常複数回の治療を受ける必要がある」といわれている中で、初回のプログラムでこの回復率は非常に高いと考えております。

1年以内にまた薬物を使用してしまう人の特徴としては、入寮までにアルコールを常用していた期間が長いこと、それから、入寮3ヶ月が経過してもなかなか気分感情の状態が改善しにくいことなどがあげられます。

このような特徴をもつ人は、慎重にじっくりとプログラムに取り組むことが安全です。

医療機関

依存症からの回復には医療との連携が欠かせません。

GAIAでは、提携医療機関との密接な連携を保つことで、利用者の回復が安全で円滑に進むよう努力しています。

まず、GAIAの利用に先立ち、利用者の皆様には提携医療機関にて血液検査を受けていただき、感染症のチェック等を行います。

これらの検査は、利用者の方で自身の健康のためであると同時に、他の利用者の方々も含めた施設全体の安全のために大切なことです。

またGAIAで提供しているプログラムのほかに継続した医療が必要な利用者の方には、GAIAスタッフが定期的に提携医療機関までの送迎を行うだけでなく、スタッフも診療に立ち会いますので、スタッフからも必要な情報を捕捉したり、本人、主治医、スタッフが一緒になって今後の方針を協議したりすることができます。

処方箋の調整や減薬を行うさいにも、当事者の気持ちを大切にしつつ、主治医の管理のもと、慎重に安全に行うよう心がけています。



提携医療機関

かいクリニック

医院長 稲田隆司
沖縄県那覇市泉崎2-8-18
【TEL】098-855-7575

田崎病院

沖縄県那覇市字松川319
【TEL】098-885-2375

糸満清明病院

沖縄県糸満市字大度520
【TEL】098-997-2011

治療共同体の希望

～GAIAに寄せて～

日本も多様な治療共同体が展開する時代になりました。GAIAもその一つです。GAIAの活動は沖縄の自然を生かした環境療法と12ステップのプログラムを軸に依存症のリハビリに大きく寄与しています。医療スタッフも必要に応じて支援を行い、当事者の健康管理に万全を期しています。医療スタッフとGAIAのような治療共同体が互いに学び合い連携する柔軟なリハビリテーションが始まりつつあります。ユイマール(共生)の訪れといえましょう。

琉球GAIA囑託医 医療法人上泉会 理事長 稲田 隆司

利用のご案内

参加資格

- アルコール・薬物・ギャンブル依存症から回復したいという意志のある方。
- 原則としてご家族の方がGAIA家族会でプログラムを受けていること。
- 自立を目指し、他の利用者との協調性をもってプログラムに参加できる方。

※プログラムへの参加にあたり、事前に面接を受けて頂き、プログラム参加への適否を検討させていただきます。(下記参照)

事前面接

今後のリハビリを有効に進めるため、以下の内容についてお聞きします。(個人情報は、本人の承諾なしに公開したり、他の機関に情報提供するといった事は、一切ございませんのでご安心下さい。)

基本属性	年齢、教育歴、職業等	犯罪歴	前科、前歴、現在の裁判状況
対人関係	家族関係、一般的対人	治療歴	過去の通院、入院歴、処方薬の服用、精神疾患の既往歴
感情の問題	抑うつ、不安、緊張など	現在抱えている悩み (借金問題等含む)	
薬歴	主な使用薬物、使用頻度 (アルコール・ギャンブル等含む)	個別のゴール設定	

面接終了後、スタッフ、家族、本人で話し合い、今後の治療計画や目標を決めていきます。事前面接で当施設のプログラムが本人の抱えている問題に適さない場合、もしくは当施設で提供できないと判断した場合は、適切な機関を可能な限り、ご紹介致します。

秘密厳守 (カウンセラー・スタッフは、秘密を厳守致します。)

当施設は、利用者からお預かりした個人情報を適切に管理し、次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示いたしません。

- 利用者の同意がある場合、または利用者が希望されるサービスを行なうために当施設が業務を委託する第三者に対して開示する場合。
- 法令に基づき開示することが必要である場合
(但し、当施設は利用者から違法性のある薬物等での相談を受けた場合でも、利用者の回復に重点をおいているため、警察、その他機関へ通報する事は一切行っておりません。)
- 本人が他者への殺意、危害を明らかに示した場合には、やむをえず警察に通報する事があります。
- 今後のリハビリを有効に進めるため、本人の状況は、連帯保証人及び家族の方々に知らせることがあります。

入寮生活を始めるにあたって



■ 入寮時に必要なもの

私物管理のスペースが限られているため、荷物は極力少なめにおさえてください。(バッグ1~2個程度) 必要に応じて沖縄にて購入することも出来ますが、施設の都合により日数がかかる場合もございます。なるべく事前にそろえてください。

- 保険証 ※施設で保管
- 運転免許証
- 洗面用具、歯ブラシ、カミソリ、タオル
※歯ブラシ、カミソリは感染症に感染する恐れがあるので自己管理を徹底してください。
- 衣類、普段着
- 水着、バスタオル、ビーチサンダル
※フィットネスジムのプールを利用の場合、競泳水着、ゴーグル、キャップが必要となります。
- トレーニングウェア、運動靴
※外履き用、内履き用
- デイバッグ、もしくはリュックサック



■ 生活費

金銭管理もプログラムと考えています。一日1,000円で内訳は、昼食代、嗜好品などです。

■ 持ち込んではいけない物、及び必要のない物

オリエンテーションの際には施設の安全運営上、厳重に荷物の確認をさせていただきます。以下の物を持ち込んでいた場合は、施設で管理、保管、又は返送させていただきます。

- 薬物及びアルコール類
- 危険物、銃刀類、爆発物
- 高級貴金属類、お金(通帳・クレジットカード、キャッシュカード類はお預かりします)
- パソコン、携帯電話、タブレット端末、ゲーム類(電話、インターネット、SMS、SNSなどの使用は原則禁止しています)

※その他スタッフが必要ないと判断した物は、施設で管理、保管、又は返送させていただきます。
※利用者全員に実施している作業ですので予めご了承ください。



参加者の責任

共同生活を過ごす上で、当然要求されるルールやマナーを守って頂く以外に、特に当センターが定めている規則は以下の通りです。

- 施設の建物・備品・車両等を破損した場合(意図の有無にかかわらず)は弁償して頂きます。
- 暴言等、リハビリの目的から逸脱し、集団生活を乱す問題行動は慎んで頂きます。
- スリッパ(再使用、再飲酒、再行為)してしまった場合、スタッフと個別に面談したうえでプログラムの継続が可能かどうか判断します。場合によっては解毒入院や、他機関を紹介した上で移行して頂くこともあります。
- 家族との連絡が必要な場合、スタッフ立会いの元、施設の電話で連絡を取ることができます。原則として知人、友人等への連絡は不可となっております。
- 手紙のやり取りはスタッフと相談しながら行っていただきます。
- 門限は午後10時30分になっております。

(以下禁止項目)

- ・暴力
- ・施設内での薬物・アルコール(合法・非合法問わず)の使用及び、持ち込み
- ・他の入寮者への誹謗・中傷
- ・所定の場所以外での喫煙・寝タバコ
- ・ギャンブル、賭博等(施設内外問わず)
- ・電話使用の制限及び無許可での携帯電話・インターネット・SMS・SNS等
- ・利用者同士の金銭の貸し借り及び代理行為
- ・無断外泊および知人、友人(異性含む)の施設への同伴及び宿泊。

※その他詳細は、面談の際に詳しくご説明させていただきます。



ご家族の方へ

依存症の治療や回復には、ご家族の果たす役割が非常に大きいということが実証されています。ご家族の方が依存症という病気をよく理解し、ご本人に対する適切な対応やコミュニケーションを行えるようになることが、ご本人の回復にとっても役立つということがわかってきました。大切な人を依存症という病気からなんとか助けたい願うご家族の方は、ぜひその回復を支える力になっていただきたいと思います。

依存症の本人と密接にかかわる家族は以下のような影響を受けているケースが少なくありません。

- ケア労働(本人の看病・世話・他の家族を支える事)
- 身体への影響(不眠・動悸・胃腸障害・頭痛・怪我など)
- 地域コミュニティからの孤立(うわさ・非難を恐れる)
- 感情への影響(不安・あせり・自責・不信・疑い・無力感・うつ・混乱)
- トラウマ(心的外傷)体験(本人が普通でない場面を見る・暴力をうけるなど)
- 信頼関係の崩壊(お金を取られる・物を売られる・責務の立替を求められる)
- 本人の起こしたトラブルへの対処(借金・けんか・恋愛関係・雇用関係・退学処分など)
- コミュニケーション不全(連絡が取れない・不機嫌・怖い・言い争いなど)
- 司法(事件に発展する不安・逮捕・裁判)

これらの影響が生じているにもかかわらず、自分を後回しにしてしまうのは望ましいことではありません。西洋の例えに「乾いた井戸で人に水を飲ますことは出来ない」という言葉があるように、自身が充足してはじめて他の人を助けることが可能となります。そこでGAIAでは「ご家族も共に回復する」という考えの元、ご家族の方にも「家族支援プログラム」の参加を強くお奨めしております。依存症と言う病気をよく理解出来るようになること、ご本人に対する適切な対応や、コミュニケーションを行えるようになること、依存症から回復出来るということをご家族が信じられること、を大きなテーマにしています。また、家族会のグループがオープンであること、他の援助者や、治療機関とも連携が取れていることも重要です。グループに参加することで、ご家族に笑顔が戻り、本人同様、ご家族自身が同じ問題を抱えた仲間と出会い、回復を支える為に必要な知識や情報を共有できる環境作りを心がけております。

グループで学んだことを実際の生活に活かせるようになるには、個別支援も必要になります。個別のカウンセリングを通して個々の問題を整理しながらグループに参加して頂ければ、教育プログラムの効果が最大限に発揮されると考えております。また、緊急時の対応に関しましても、出来る限りのサポートをさせていただきます。

GAIAでは関東・関西・沖縄にて依存症の問題を抱えたご家族を対象とした家族会の開催、そして依存症や様々な問題を抱えた娘を持つ母親を対象とした家族会を開催しております。ご本人がGAIAを利用する、しないにかかわらずGAIAの家族会にはご参加頂けますので是非ご参加頂き、ご自身のセルフケア、リハビリ相談などにご活用ください。



家族会

GAIAでは関東・関西・沖縄にて依存症の問題を抱えたご家族、また依存症の娘を持つご家族を対象とした家族会の開催、そして依存症の問題を抱えた女性本人に限定したグループセラピーを開催しております。毎回多くのご家族が参加し、当センタースタッフ、OB、専門家を迎えてのセミナーなど、依存症に悩むご家族や、相談窓口の少ない女性の方々にとって非常に内容の充実した集いとなっております。初めてお越しの方でも参加しやすいようなアットホームな雰囲気作りを心がけています。是非参加頂き、ご自身のセルフケア、リハビリ相談などにご活用下さい。なお、会場の都合で参加費が各会場によって異なりますことをご了承ください。

関東地区家族会

グループ名称：GAIA家族会

参加費 4,500円

【参加対象】 依存症の問題を抱えたご家族・関係者・本人
(本人は別室にてグループセラピーを行っております)

【開催日時】 毎月第2土曜日の18時～20時30分(当日の午後より個別カウンセリングも併催)

【会場】 すみだ産業会館8・9F (〒130-0022 東京都墨田区江東橋3-9-10 TEL: 03-3635-4351)

グループ名称：ハイビスカス

参加費 無料

【参加対象】 依存症の問題を抱えた娘を持つご家族

【開催日時】 毎月第1土曜日の17時～20時30分

【会場】 港区障害福祉センター (〒105-0014 東京都港区芝1-8-23 TEL: 03-5439-2511)

関西地区家族会

グループ名称：依存症勉強会

参加費 4,500円

【参加対象】 依存症の問題を抱えたご家族・関係者

【開催日時】 毎月第3金曜日の14時～16時

【会場】 ルーナロッサビル3F (〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町1-5-13)

沖縄地区家族会

グループ名称：沖縄家族会

参加費 無料

【参加対象】 依存症の問題を抱えたご家族・関係者

【開催日時】 毎月第2・第4月曜日の19時～20時

【会場】 沖縄県立総合精神保健福祉センター2F (〒301-1104 沖縄県島尻郡南風原町宮平212-3)

沖縄地区家族会

グループ名称：女性Meeting ~女性の為の女性だけのミーティング~

参加費 無料

【参加対象】 依存症の問題を抱えた女性

【開催日時】 毎週火曜日の14時～15時

【会場】 かいクリニック1F (〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2-8-18)

料金案内

GAIAをご利用いただく際に必要となる料金のご説明をさせていただきます。

1.入寮金

入寮手続き時に初回のみお支払頂く費用です。
個人の布団や、日用品、備品の購入及び琉球GAIAをご利用頂く方々全員に加入して頂く賠償・傷害・死亡保険料となります。
※保険内容につきましては別紙参照

入寮 100,000円 通所 50,000円

2.入寮保証金

入寮手続き時にお預かりさせて頂く費用です。
「入寮保証金」お預かり時に「預かり証」を発行いたします。
退寮時に精算いたしますので大切に保管して下さい。

入寮 100,000円 通所 50,000円

3.デイ・ナイトケア費

当センターが提供する基本プログラム・カウンセリング・セミナー・グループセラピー宿泊費・光熱費を含んだ費用となります。
※月途中の入退寮は、日割りで精算いたします。

月額 240,000円 日額 8,000円
(月途中の入退寮は、日割りで精算いたします)

4.通所費用

琉球GAIAのデイ・ナイトケアプログラムからの移行で、当センターを通所でご利用される際に必要となります。
※月に何度ご利用されても、料金は一律で設定させて頂いております。

月額 50,000円

5.デイ・ナイトケア費 ※返金

入院時・帰省時等の場合に、私物棚及び個人スペースをGAIA内に確保した上での返金につきましては、日額4,000円で計算し、前月に頂いておりますデイ・ナイトケア費より、ご指定の口座へ返金致します。月途中の退寮におきましては、お預かりしているデイ・ナイトケア費日額8,000円を日割り計算し、返金させていただきます。

日額上限 10,000円 半日 5,000円

6.交通費

グループミーティングや私用、プログラム等に参加した際の移動費用となります。

1回 550円
(請求上限・40回で22,000円)

7.個別対応費(入所者・通所者)

病院への入退院時の手続きや、警察、弁護士、裁判所への付添等でスタッフが個別に対応した場合にご請求する費用となります。

日額上限 35,000円 半日 20,000円

8.個別対応費(入所前)

出張カウンセリング、地方面談、病院面会、警察、弁護士裁判所対応等で入所前にスタッフが個別に対応した場合にご請求する費用となります。

9.面談カウンセリング費

入所されている方に付きましては、カウンセリング費用は請求致しません。
入所前、または現在通所としてご利用頂いている方へのみ請求させていただきます。

1時間 6,000円

10.施設利用料

日中のスポーツプログラムとして利用するジム、体育館、ゴルフレンジ、フットサルコート、野球場等の施設を利用する際にご請求させていただきます。

(例) スポーツジム 1回 1,500円

11.食費

食費内訳は、朝食・夕食・飲料にかかる費用となります。
生活費内訳は、主に昼食代、嗜好品などに充てていただきます。

【食費】日額 1,200円 【生活費】日額 1,000円

12.医療費及び日用品他・個別立替金

病院や歯科、日常生活での必要備品など購入した場合に請求させていただきます。

※各種家族会の参加希望の方は、

琉球GAIA：TEL 098-831-2174 までご連絡下さい。

原則として①～⑨は経費として請求させて頂き、⑩⑪は生活費としてGAIAが立て替えて本人へお渡しさせて頂くため、毎月(経費)・(生活費)と2枚に分けて請求書をお送り致しますので、それぞれ別々の口座へのご入金をお願い致します。以上を合計して、1ヵ月平均で約31万円～40万円ほどのご請求となります。(各自の参加するプログラム、12番の項目によってご請求金額に開きがございます)